シラバス

令和 6　年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築デザイン史	担当者	大城　美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	今日の建造物の造形意匠を理解する上で最も基礎となる近代建築に関する意匠の諸相を中心に講述する。				
到達目標	近代建築運動の主要の流れとその代表作が時代に反映、影響を及ばした歴史を述べることができる 近代3大建築家の作品を述べることができる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	授業導入【衣・食・住】【デザイン史】について	2
	2	産業革命～芸術運動	2
	3	建築とは	2
	4	美しいい建築の造形印象を与える表現心理的な印象をあたえる表現	2
	5	中間テスト振返り(❶～❹)	2
	6	近代3大建築とモダニズム	2
	7	沖縄県戦後建築物【代表作】	2
	8	評価試験　モダニズム～3大巨匠まで	2
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		16

教科書	図説　建築の歴史 【学芸出版】		
時間外学習			
成績評価方法	評価テスト:80%、授業取り組み:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築環境工学	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	人々が快適に過ごすため、建築における、日照、採光、温熱環境などの原理を学び、快適な室内環境の創造のため知識を知る。				
到達目標	光、温熱、空気、音が住まいの環境にどのように影響を与えるのかを理解し、住宅規模の設計に応用出来る。				

授業計画		内　容	授業時間数
	1	住まいを取り巻く環境について 自然と暮らし・現代住まいと環境計画	2
	2	光環境 照明	2
	3	光環境 自然照明・人工照明	2
	4	温熱環境 温度と熱移動	2
	5	温熱環境 室温と熱負荷	2
	6	温熱環境 湿度と結露	2
	7	温熱環境 体感温度	2
	8	温熱環境 太陽と日射	2
	9	空気環境 室内の空気を汚染する物質	2
	10	空気環境 自然換気・機械換気・換気計画・通風	2
	11	音環境 音の性質	2
	12	音環境 室内の音響・騒音と振動	2
	13	蒸暑地域における住まい環境(沖縄の環境)	2
	14	中村家住宅見学	4
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		30

教科書	図説やさしい建築環境(学芸出版)		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト:70%、毎回のレポート提出:20%、授業態度:10%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築一般構造	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	各種構造方式の木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート造などの概要を講述する。				
到達目標	・各種構造の名称・構成・特性を理解できる ・構造の基本的な考えを理解し、設計演習に連携させながら建築工学的な知識を習得できる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	建築構造の種類。	2
	2	構造計画に関わる用語について。	2
	3	地盤について(地層・地盤調査)	2
	4	基礎、杭	2
	5	建築物にはたらく力(荷重・外力)。	2
	6	木構造:基礎、軸組、小屋組み。	2
	7	木構造:床組、階段、開口部、外部仕上げ。	2
	8	木構造:内部仕上げ。 ※木構造のまとめ	2
	9	鉄筋コンクリート造:特徴と構造形式。	2
	10	鉄筋コンクリート造:主体構造(基礎・柱・梁・スラブ・壁)	2
	11	鉄筋コンクリート造:材料と配筋・継ぎ手・定着・あき寸法	2
	12	壁式鉄筋コンクリート構造:特徴と構造形式。	2
	13	鉄骨構造:特徴と構造形式。鋼材の種類。接合。	2
	14	鉄骨構造:骨組みの構成(梁・柱)	2
	15	補強コンクリートブロック造	2
	16	※授業の進捗状況、学生の理解度等を考慮し余裕が見受けられたら	
	17	木造軸組み模型の制作を行い木構造の理解度を上げる	
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		30

教科書	特になし、参考文献【「構造用教材」 日本建築学会・「図説 やさしい建築一般構造」「専門課程 建築構造」 学芸出版】		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト80%、授業取り組み20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6　年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築材料学	担当者	亀島　英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築物を構成する材料。主にセメント・コンクリートを中心に金属材料・木材などの諸性質について解説する				
到達目標	・木材、セメント・骨材・コンクリート、鉄筋、石、ガラスなどを中心に基礎的な性質を総合的に習得できる ・建築用途に合致したものを選定する知識と同時に外部・内部空間を構成するエレメントの概要を習得できる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	木材の特徴と種類。	2
	2	木材の性質、合板（ベニヤ）・集成材、エンジニアリングウッド（加工木材）①	2
	3	木材の性質、合板（ベニヤ）・集成材、エンジニアリングウッド（加工木材）②	2
	4	壁下地材の特徴と種類　・軽天間仕切及び木間仕切（骨組み材・貼り材）	2
	5	木質系ボードの特徴と種類	2
	6	セメント・コンクリート①：コンクリートの特徴と種類、コンクリートの調合。	2
	7	セメント・コンクリート②：コンクリートの混和材料、コンクリートの物性、施工と養生。	2
	8	セメント・コンクリート③：コンクリート二次製品（プレイキャストコンクリート、プレストレスコンクリート、CB）	2
	9	鋼材の特徴及び腐食・その他の金属材料	2
	10	石材：特徴と種類	2
	11	ガラス・タイル：特徴と種類、施工方法	2
	12	高分子系材料・塗料：材料と種類	2
	13	左官材料：材料と種類	2
	14	ボード類：石膏系	2
	15	ボード類、その他断熱材：セメント系	2
	16	※授業の進捗状況、学生の理解度等を考慮し余裕が見受けられたら	
	17	建材を取り扱っている企業へのショールーム見学を実施	
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		30

教科書	図説 やさしい建築材料（学芸出版社）、 参考文献【マテリアルデザイン　建築の素材・材料チェックリスト・ディテール（彰国社）・「図説 やさしい一般構造」（学芸出版社）】		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト80%、授業取り組み20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	基礎製図演習	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	建築製図の基礎的演習として各種建築図面の手描きトレースを行い、作図スキルを磨く。				
到達目標	①設計図面を的確に表現するための設計図面の作図上の約束事を理解し、作図出来る。 ②基礎図面(配置図、平面図、立面図、断面図)を読むことが出来、作図出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	製図の目的と製図用具の説明、設計図面の種類の説明、線と設計図面との関係、製図の技法:線の引き方、線の練習	3
	2	①線の練習 ―平行線と斜め線―　②線の練習 ―円と直線の組み合わせ―	3
	3	③開口部の表示記号 ―出入り口・窓の図面表現―	3
	4	③開口部の表示記号 ―出入り口・窓の図面表現― S=1/100	3
	5	④木造住宅1階平面図 S=1/100 トレース	3
	6	④木造住宅1階平面図 S=1/100 トレース	3
	7	⑤RC住宅1階平面図 S=1/100 トレース	3
	8	⑤RC住宅1階平面図 S=1/100 トレース	3
	9	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース	3
	10	⑤RC住宅平面図断面図・立面図 S=1/100 トレース	3
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	合計時間数		30

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。 参考文献【新しい建築製図(美術出版)、初めての建築製図(学芸出版社)、建築製図演習教本(彰国社)、建築設計演習 基礎演習(彰国社)】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	建築CAD演習　Ⅰ	担当者	亀島　英正	科目必修区分	必修
授業概要	各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。				
到達目標	・2次元CADによる基礎操作がスムーズにできる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション:授業内容、(CADの基本操作(1)＝作図環境、2次元図形の基本的作図、作図コマンドと編集コマンドの基本操作1:直線・矩形・コーナー・包絡・複線)	3
	2	作図コマンドと編集コマンドの基本操作2:線種変更、レイヤ変更、線角・鉛角	3
	3	作図コマンドと編集コマンドの基本操作3:基点変更・一括処理(伸縮、消去)	3
	4	作図コマンドと編集コマンドの基本操作4:線色分け、円・円弧・面取り	3
	5	作図コマンドと編集コマンドの基本操作の復習	3
	6	作図コマンドと編集コマンドの基本操作の復習	3
	7	作図コマンドと編集コマンドの基本操作の復習	3
	8	実際の図面を作図①:住宅平面図	4
	9	実際の図面を作図①:住宅平面図	5
	10	実際の図面を作図①:住宅平面図	5
	11	実際の図面を作図②:住宅平面図	5
	12	実際の図面を作図②:住宅平面図	5
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		45

教科書	特になし。　参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクスナレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクスナレッジ)】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	建築CAD演習　Ⅱ	担当者	亀島　英正	科目必修区分	必修
授業概要	各種基本設計図面のCAD操作、図面表現を実習指導する。				
到達目標	・RC造(S=1/100)から平面詳細図、立面図などに展開するために必要となる「実施設計」の図面作成技術をCADを利用して描写することができる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション:建設現場に必要な実施設計図面の概要説明。	3
	2	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50)　①	3
	3	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50)　①	3
	4	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50)　②	3
	5	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50)　②	3
	6	断面を考え、断面図を理解する	3
	7	専用住宅のRC造立面図作図(1:50)　①	3
	8	専用住宅のRC造立面図作図(1:50)　①	3
	9	専用住宅のRC造立面図作図(1:50)　②	3
	10	専用住宅のRC造立面図作図(1:50)　②	3
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		30

教科書	特になし。　参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクスナレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクスナレッジ)・建築CAD検定試験問題集(一般社団法人全国建築CAD連盟)】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	設計演習 Ⅰ	担当者	比嘉 健矢・新垣 弘志	科目必修区分	必修
授業概要	建築設計の第一歩である最も身近な建築である「住宅・別荘」「店舗」の設計課題に取り込む。小規模建築物、店舗の設計手法、図面化や自分の考えをまとめてプレゼンテーションする能力を養い、更には計画地周辺環境を把握し、自分が意図する建築空間を設計し、その基本的な図面等で表現する。手順を追って設計し、スケジュール感覚と提出期限を厳守できる習慣を身につける。				
到達目標	①敷地調査、プランニング、作図、プレゼン表現を経験し、設計の工程を説明出来る。 ②住宅規模、店舗の基本設計が出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	課題オリエンテーション:「住宅」の設計課題について、課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明。 設計主旨についてのエスキース	3
	2	スタディ模型(検討用模型)の制作:スチレンボードより外観模型制作	6
	3	エスキース	24
	4	平面計画についてのエスキースと平面図清書①	6
	5	平面計画についてのエスキースと平面図清書②	3
	6	断面計画についてのエスキースと断面図清書①	3
	7	断面計画についてのエスキースと断面図清書②	3
	8	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備	6
	9	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備	3
	10	平面図・立面図・断面図の着色とプレゼンテーションの準備	2
	11	プレゼンテーション	6
	12	課題オリエンテーション:「店舗」の設計課題について、目的・設計条件・要求図面の説明。テーマ・コンセプト作成	6
	13	テーマ・コンセプトに基づくのエスキース	6
	14	エスキース	17
	15	平面計画についてのエスキースと平面図清書①	6
	16	平面計画についてのエスキースと平面図清書②	6
	17	室内・ファサード計画についてのエスキースと清書①	6
	18	室内・ファサードの透視図作成	6
	19	透視図の着色とプレゼンテーションの準備	3
	20	プレゼンテーション	6
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	合計時間数		127

教科書	住まいの建築計画(学芸出版) 教務作成の設計データなどを含む資料を配布・製本化したマニュアル冊子をテキストとして使用し解説を加える。		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6　年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習　Ⅱ	担当者	比嘉　健矢	科目必修区分	必修
授業概要	一連の住宅設計、店舗設計の学習を通して、人間の生活行為と街とのつながり(公共性)との関係性を再定義し設計する。更に設計図面化の能力を向上させ、設計意図(コンセプト)と基本図面が合致し、最終的に自ら設計した建築物の必要充分な図面表現や模型制作を含め発表する。				
到達目標	①周辺環境、敷地環境を読み取り、コンセプト立案・住空間を計画が出来る。 ②1/50の模型を制作出来る。 ③1/100の基本図(配置図、平面図、断面図、立面図)を作図出来る。 ④Illustrator、Photoshopを駆使したプレゼンボードを作成出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	課題オリエンテーション:課題目的・設計条件・必要諸室・要求図面などの説明、計画地現地調査・敷地調査報告書	12
	2	設計コンセプト/建築的手法概要オリテ/エスキース1の作成:平面を中心とした概略エスキースを作成する	12
	3	エスキース1:平面を中心とした概略エスキースを作成する。	12
	4	エスキース2:機能的処理(動線計画)を中心としたエスキースを作成し、空間チェックも含め個別指導する。	10
	5	エスキース3:平面計画と合致した検討用の模型制作(スタディ模型制作)、立面エスキースの作成	6
	6	エスキース4:スタディ模型と照合しながらの断面エスキース①	6
	7	各階平面図の清書	6
	8	立面図清書　断面図清書	6
	9	完成予想CAD入力表現	6
	10	完成予想CAD入力表現	6
	11	完成予想模型製作　①	6
	12	完成予想模型製作　②	6
	13	プレゼンボード制作	9
	14	プレゼンテーション	18
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	合計時間数		121

教科書	住まいの建築計画(学芸出版) 教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築設計資料作成」:丸善　「建築設計資料」:建築資料研究社】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	図学(ドローイング)	担当者	新垣　弘志	科目必修区分	必修
授業概要	鉛筆による立体描写に始まり、平面図・立面図・展開図からパースラインを意識した透視図の簡略図法(M点法)、2消点簡略図法そして着色トレーニングを課題とする				
到達目標	フリーハンド立方体描写により、1消点、2消点と鉛筆の表現方法を習得する。内観図＝平面図、展開図、天井伏図よりM点法のパースを理解する。外観図＝平面図、立面図、断面図より外観2消点簡略法を学ぶ。内観透視図と外観透視図着色技法(色鉛筆、マーカー)を学ぶことにより、物体の形態、陰影、質感に留意し描写力を高め、頭に浮かんだイメージを実際にパースラインを意識した立体構想力を養うことを目標とする。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	鉛筆による立方体の描写、視点の違いによる立方体の作図	3
	2	5つの立方体によるフリーハンド表現(1消点、2消点)	3
	3	簡略図法(M点法・1消点)基本作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"①	3
	4	簡略図法(M点法・1消点)基本作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"②	3
	5	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"③	3
	6	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"添景作図"	3
	7	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"着色	3
	8	簡略図法(M点法・1消点)応用作図"平面図、展開図より1消点内観透視図"着色	3
	9	2消点基本図法からM点法2消点基本図形作図①	3
	10	2消点基本図法からM点法2消点基本図形作図②	3
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	合計時間数		30

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。 参考文献【「現代パースの基本と実際」 株式会社　グラフィック社 】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:60%、小テスト:20%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	色彩学	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	人は生活をより快適に過ごすために、「色彩」が果たす役割は非常に大きなものがあり、その重要な色彩を自在に使うには知識と技術が必要である。色彩感覚に自信がないひとでも、配色や色の持つ固有のイメージや、補色や同系色といった組み合わせの理論を知ると色を選ぶ決断が容易になる。				
到達目標	①配色を理解し生活をより快適に過ごすためのインテリアコーディネートに応用できる。 ②景観に配慮した建築色彩を表現できる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	色彩の導入演習課題配布説明	2
	2	第1章光り成り立ち第2章混色	2
	3	第2章色の表示方法第4章__色の知覚的効果	2
	4	第4章色の心理的効果第6章　色彩調和	2
	5	第5章色の心理的効果	2
	6	第6章色彩調和	2
	7	第1章～3章まとめ問題と解説	2
	8	第4章～5章まとめ問題と解説	2
	9	第5章～6章まとめ問題と解説	2
	10	色彩士検定の問題の解説	2
	11	色彩士検定の問題の解説	2
	12	色彩士検定の問題の解説	2
	13	色彩士検定の問題の解説	2
	14	色彩士検定の問題の解説	2
	15	色彩士検定の問題の解説	2
	16	色彩士検定模擬テスト	2
	17	色彩士検定模擬テスト解説①	2
	18	色彩士検定模擬テスト解説②	2
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		36

教科書	Color Master BASIC 【アデック】		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト:80%、授業取り組み:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	モデリング	担当者	内間 直樹	科目必修区分	必修
授業概要	平面的表現である図面を読み取り、頭の中で立体物を想像し、立体表現をすることができるようになる。 各種材料の利用方法と特性、それらの加工をする用具の使用技術をみにつけることができる。 模型の目的別、範囲別の種類(スタディ、外観、インテリア…など)を知ることができる。				
到達目標	2次元の図面(平面・立面・断面)に描かれた空間や立体物を読み取り、より正確にきれいに思い通りの立体物として作成することができるようになる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	授業概要の説明、模型の目的別、範囲別の種類の説明	3
	2	2次元の読み方、スチレンボードを使用して特性の説明・基礎練習(切る、貼る、曲げる)	3
	3	〃 (直方体 作成)・(円柱 作成)	3
	4	図面の整合性についての理解、入り隅部分の説明と理解(L型 1/100 簡易 住宅模型)	3
	5	〃	3
	6	〃	3
	7	実践 1/100 住宅模型 制作(住吉の長屋:安藤忠雄)	3
	8	〃	3
	9	〃	3
	10	〃	3
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		30

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応。		
時間外学習			
成績評価 方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	インテリア計画	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	演習を交えながら、実践的に必要な室内空間演出のスキルを身につけると同時に、チームビルディングを構築する。				
到達目標	①空間における寸法の重要性を理解し、採寸する癖を身につける。 ②空間演出をチームで検討、施工することでクラスメイトとの親睦が深めることが出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	インテリアデザイナーの分類、平面計画	6
	2	ディスプレイデザイン検討	6
	3	インテリアショップ見学	3
	4	施工準備	2
	5	ディスプレイデザイン制作	3
	6	ディスプレイデザイン施工	3
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		23

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:40%、授業態度:60%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	グラフィックデザイン演習Ⅰ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	illustrator、Photoshopなどのグラフィックアプリケーションの基本操作を習得し、写真加工、レイアウトの基礎を学ぶ。				
到達目標	①illustratorを使用して、図面、パース、写真、テキストを一つの誌面にレイアウト出来る。 ②Photoshopを使用して手描きパースに着色出来る。また、簡易的な画像合成が出来る。				

授業計画		内　容	授業時間数
	1	illustrator基本操作・各種ツールの使い方	3
	2	illustrator基本操作・各種ツールの使い方	3
	3	illustrator基本操作・レイアウト基礎	3
	4	illustrator基本操作・レイアウト基礎・課題提出①(レストランメニューレイアウト)	3
	5	Photoshop基本操作・各種ツールの使い方	3
	6	Photoshop基本操作・各種ツールの使い方・課題提出	3
	7	Photoshop基本操作・写真や画像の加工・課題提出②(手書きパース着色)	6
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		24

教科書	適宜、参考資料を配布		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	発想トレーニングⅠ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	頭と指で考える課題として毎週住宅計画し、模型提出およびプレゼンテーションを行う。コンセプト立案、造形、発表の手順を繰り返し経験することで、発想の幅を広げ、その他の作品制作に活かす。				
到達目標	①毎週提出し、期限を守ることが出来る。 ②立案したコンセプトを模型(S=1/100)、コンセプトシートとして落とし込み、表現・発表が出来る。				

授業計画		内　容	授業時間数
	1	課題概要の説明、課題発表、模型制作	2
	2	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	3	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	4	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	5	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	6	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	7	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	8	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	9	プレゼンテーション、次回課題発表	2
	10	プレゼンテーション	2
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		20

教科書	適宜、参考資料を配布		
時間外学習			
成績評価方法	授業態度:20%、課題・発表評価:80%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	3次元CAD	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	2D-CADソフト, JW-CADの基本的な使用法を理解した後、更に表現力を高めるために3DCADソフト, Vector Worksを用いて3次元モデリング方の基礎を理解し, 簡単なインテリア空間3Dモデルを作成できるようになる。また、2年次設計課題に技法を取り入れ3次元設計(BIM)へ繋げる。				
到達目標	①Vectorworks操作を理解ができ、2次元から3次元に起こすことができる。 ②テクスチャーの設定ができる ③レンダリングで光源設定を理解し、プレゼンテーション表現ができる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	Vectorworksの概要と作業環境について　図形描画と加工編集	2
	2	通り芯の作図	2
	3	柱の作図	2
	4	壁の作図	2
	5	窓の作図	2
	6	屋根の作図	2
	7	アングルを決めるレンダリング方法	2
	8	パースを取り出す、フォトショップにて色調補正	2
	9	プレゼンシート作成①	2
	10	プレゼンシート作成②提出	2
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	合計時間数		20

教科書	Vectorworksパーフェクトバイブル 2018/2017対応,CADリテラシー演習(A&A)		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	家具制作	担当者	山城 豊	科目必修区分	必修
授業概要	家具を設計・制作することで人体寸法を理解し、インテリア空間を読み取る考察力を身につける。同時に木材の知識を深め、加工方法や家具の構成を学ぶ。				
到達目標	簡易的な木製小型家具(スツール、テーブル等)を制作することが出来る。 木材の特徴について説明が出来る。 木材加工機械・道具の操作、使用することが出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション工作室の使い方、機械・工具・資材について解説	3
	2	簡単な箱物製作→パネル(合板)組立	3
	3	簡単な箱物製作→パネル(合板)組立	3
	4	資材見学→メイクマンにて資材解説	3
	5	家具制作→脚物(ベンチ)製作　アイディア出し・各種機械加工指導	3
	6	家具制作→脚物(ベンチ)製作　アイディア出し・各種機械加工指導	3
	7	家具制作→脚物(ベンチ)資材(角材・板材)加工・組立	3
	8	家具制作→脚物(ベンチ)資材(角材・板材)加工・組立	3
	9	家具制作→仕上げ→塗装(水性塗料→潰し塗装)	3
	10	家具制作→仕上げ(塗装)　講評	3
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		30

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応		
時間外学習			
成績評価　方法	授業への取り組み20%、課題提出80%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	特別授業	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	専門知識や技術以外の人間性を育み、社会人基礎力の3つの能力を育成する				
到達目標	3つの能力 ①「前に踏み出す力」 ②「考え抜く力」 ③「チームで働く力」				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション	51
	2	新入生球技大会	6
	3	デザコンキックオフ	6
	4	始業日、就業日（大掃除含む）	6
	5	避難訓練、健康診断	5
	6	検定、学期末テスト	9
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		83

教科書			
時間外学習			
成績評価方法	学習態度:100%		
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 1年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	デザイン思考/志学/就職実務	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	デザイン思考を認識する。他分野・同分野の意見を取り入れ物事の考え方や考えるプロセスを考察する。 卒業生講話、就職実務を通して、働くとはどういうことか、業種や職種、仕事と責任、コミュニケーション等、前向きに就職活動が進められるよう働くための基礎を身につける。				
到達目標	①デザイン思考のプロセスを理解し、実践出来る。 ②働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 ③企業リサーチの手段を理解し、実践できる。 ④電話掛け、名刺の受け渡しなど対人におけるビジネスマナーの基礎が出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	デザイン思考導入(導入1h／グループワーク分け)	3
	2	デザイン思考導入(コンセンサスワーク)	3
	3	デザイン思考A(導入)	3
	4	デザイン思考A(ワーク)	3
	5	デザイン思考A_発表と共有	3
	6	デザイン思考B(導入)	3
	7	デザイン思考B(ワーク)	3
	8	デザイン思考B(ワーク)	3
	9	デザイン思考B(発表)	3
	10	デザイン思考C(導入)	3
	11	デザイン思考C(ワーク)	3
	12	デザイン思考C(ワーク)	3
	13	デザイン思考C(発表)	3
	14	デザイン思考の振り返り	3
	15	DESIGNCOMPチーム構築／チームでのワーク	9
	16	就職実務	36
	17	卒業生講話	15
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		102

教科書	KBC学園就職活動の進め方(オリジナルテキスト)		
時間外学習			
成績評価方法	レポート・課題提出:30%、学習態度:70%		
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	建築法規	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	住居や商業施設・その他文化施設に関する建築物の法の規則、基準などについて学びその理論と運用について理解する。				
到達目標	建築基準法で規制される諸規定・規準を理解し定義、法文の正しい読み方が理解できる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	建築法規の体系と用語について(用語の定義・面積・高さ・階数の算出)	2
	2	建築法規の体系と用語について(用語の定義・面積・高さ・階数の算出)	2
	3	単体規定(天井高さ・階段・避難)	2
	4	単体規定(採光・換気)	2
	5	単体規定(採光・換気)	2
	6	単体規定(耐火建築物)	2
	7	単体規定(防火区画)	2
	8	単体規定(防火区画)	2
	9	集団規定・都市計画(道路・敷地・用途地域)	2
	10	集団規定・都市計画(道路・敷地・用途地域)	2
	11	集団規定・都市計画(建ぺい率・容積率)	2
	12	集団規定・都市計画(建ぺい率・容積率)	2
	13	集団規定(建物高さ)	2
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		26

教科書	やさしい建築法規(学芸出版社)・建築基準法関係法令集(建築資料研究社) 参考文献【建築法規用教材(日本建築学会) イラストでわかる建築基準法(株式会社 ナツメ社)】		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト80%、授業取り組み20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築設備	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	電気設備、給排水・衛生設備、空気調和設備、防災設備、搬送設備等テキスト及び実物の見学も含め学習する。				
到達目標	・建築空間の制御を行う建築設備全般について理解できる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	建築設備の基礎事項。エネルギー利用技術	2
	2	給排水衛生設備:給水、給湯設備	2
	3	給排水衛生設備:排水、通気システム	2
	4	給排水衛生設備:衛生設備器具、雨水排水システム、ガス設備、浄化槽	2
	5	空気調和設備:空気設備の歴史、空調設備計画、空調方式	2
	6	空気調和設備:換気、ヒートポンプ、タスク・アンビエント空調	2
	7	空気調和設備:住宅設備、設備更新	2
	8	電気設備:電気設備の概要、照明、防災設備	2
	9	電気設備:受変電設備、幹線・配線設備、予備電源、照明器具	2
	10	電気設備:搬送設備(エレベーター・エスカレーター・ダムウエター)	2
	11	防災設備:感知通報、消火、避難誘導設備	2
	12	エネルギーシステムについて	2
	13	太陽光発電システム、風力発電	2
	14	設備の保全・維持管理について	2
	15	設備の保全・維持管理について	2
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		30

教科書	「図説 やさしい建築設備」:学芸出版社		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト80%、授業取り組み20%		
担当詳細	実務家	備考	
実務経験紹介	建築設計事務所 20年勤務		

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	構造力学Ⅰ	担当者	上原 利公	科目必修区分	必修
授業概要	構造力学の基礎、断面の性質、建築構造物を合理的かつ経済的に設計するための基礎となる力学について講述する。				
到達目標	1)力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力(ストレス)を理解できる。 2)応力を理解して応力図の作成できる。				

授業計画		内　　容		授業時間数
	1	自己紹介 (講師・生徒) 構造力学に必要な算術計算	(Text p. 8～14)	2
	2	力の基礎・力の釣り合い	(Text p. 16～38)	2
	3	力の基礎・力の釣り合い	(Text p. 16～38)	2
	4	反力:構造物の分類と表現　単純梁の反力	(Text p. 40～55)	2
	5	片持ち梁の反力	(Text p. 40～55)	2
	6	片持ち梁の反力	(Text p. 40～55)	2
	7	ラーメンの反力	(Text p. 40～55)	2
	8	ラーメンの反力	(Text p. 40～55)	2
	9	**中間テスト**	(Text p. 16～55)	2
	10	部材に生じる力(基礎編)	(Text p. 58～80)	2
	11	部材に生じる力(基礎編)	(Text p. 58～80)	2
	12	部材に生じる力(応用編)	(Text p. 81～110)	2
	13	部材に生じる力(応用編)	(Text p. 81～110)	2
	14	静定トラス／切断法	(Text p. 112～116)	2
	15	静定トラス／節点法	(Text p. 117～121)	2
	16	静定トラス／図解法	(Text p. 122～126)	2
	17	**予備日**		2
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	30			
	合計時間数			34

教科書	「図説やさしい構造力学」　学芸出版社		
時間外学習			
成績評価方法	授業取り組み30%、中間テスト35%、期末テスト35%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6　年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築施工	担当者	亀島　英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築物が契約から一定の期間内に完成するまでの過程において、基本的な用語や施工方法、技術に基づいて完成していくのかを系統的に学び、建築施工の基本的事項を述べる。				
到達目標	・建築物の構築の流れ、設計監理としての確認事項等を理解できる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	総論　建築主、設計者、施工者、契約、請負、施工管理、施工計画、躯体工事などの建築施工の全体の流れなどを概説する。	2
	2	入札方法、契約方法など請負の流れについて	2
	3	積算について（工事費の内訳、積算拾い出しの種類）	2
	4	現地調査、施工計画書、工程表の作成・種類	2
	5	施工管理、安全衛生管理体制、作業主任者	2
	6	地盤調査、仮設工事	2
	7	土工事	2
	8	基礎・杭工事	2
	9	鉄筋コンクリート工事	2
	10	型枠工事	2
	11	コンクリート工事	2
	12	コンクリートの欠陥	2
	13	プレキャストコンクリート工事	2
	14	解体工事	2
	15	鉄骨工事	2
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		30

教科書	「図説 やさしい建築施工」 学芸出版		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト80％、授業取り組み20％		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6　年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　2年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	西洋・日本建築史	担当者	新垣　弘志	科目必修区分	必修
授業概要	西洋建築様式の形態的特徴や美術・宗教・生活・政治・地理等との関わり、及び日本建築の造り、特徴など、テキスト及び映像を使い講述。				
到達目標	各時代の各地域の様式的な特徴を理解し、建築作品の様式的な判別が出来ることを目指す。また、各様式建築の空間構成の特質や、用途、機能や構造条件を満たすそれぞれの時代、地域の技術的な特色を理解する。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	ギリシャ建築：古代ギリシャの神殿建築および公共的建築	2
	2	美の構成要素：自然界、古代から現在のデザインまで／黄金比、白銀比	2
	3	古代ローマの歴史と建築概要、諸様相	2
	4	初期キリスト教建築とビザンチン建築	2
	5	ロマネスク建築の空間構成の特徴	2
	6	ゴシック時代の空間構成の特徴①	2
	7	ゴシック時代の空間構成の特徴②　ルネッサンス建築の空間構成の特徴①	2
	8	ルネッサンス建築の空間構成の特徴②	2
	9	バロック建築の空間構成の特徴	2
	10	新古典主義の建築、歴史主義建築	2
	11	古代の日本建築 ①古墳時代の住居、飛鳥奈良時代の寺院、平安時代の寺院	2
	12	古代の日本建築 ②奈良平安時代の神社／宮殿と都城・寝殿造	2
	13	中世の日本建築／大仏様、禅宗様、折衷様の建築／座敷の成立／民家	2
	14	近世の日本建築 ①城郭建築／書院造／茶室／数寄屋風書院	2
	15	近世の日本建築②寺院／神社／民家／学校・大店・劇場・遊郭	2
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	合計時間数		30

教科書	「図説　建築の歴史　西洋・日本・近代」：学芸出版社 参考文献【「西洋建築様式史」：美術出版社】		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト80％、授業取り組み20％		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	実習、講義	講義時期	前期
授業科目	建築計画Ⅰ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	建物(主に住宅)の基本的な設計の考え方、計画の進め方を座学と実例を通して学ぶ。 ・建築計画に必要な単位、寸法、生活に基づいた設計の考え方。 ・日本、諸外国の名建築(住居系)の事例を分析し、学びを深める。				
到達目標	①計画に必要な単位、寸法を使い、住居系の簡易的な平面計画が出来る。 ②名建築の設計意図を平面形式に基づいて読み取ることが出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	建築計画について、住宅の歴史	2
	2	単位と寸法、人体寸法、動作寸法	2
	3	モデュールとモデュラーコーディネーション、グルーピングとゾーニング	2
	4	各部の計画	2
	5	単位空間の計画	2
	6	独立住宅　平面計画	2
	7	独立住宅　電気設備計画	2
	8	グループワーク　日本、諸外国の住居　事例　リサーチ、まとめ	8
	9	グループワーク　発表	2
	10	独立住宅事例　見学	6
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		30

教科書	図説やさしい建築計画(学芸出版)		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト:50%、授業取り組み:20%、グループワーク課題提出:30%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	設計演習Ⅲ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	建築設計の基礎的手法を知り、更に動線計画といった計画的領域から、空間構成、形態、利用者心理、環境配慮といった設計方針に至る一連の作業を考察する。				
到達目標	・共同住宅、商業施設、事務所ビル、宿泊施設などの各種建築物の計画について、機能・構造、設備の基本的諸要因と計画方法を踏まえ、地域社会や利用する目線になってグループで役割を分担しながら円滑に設計を描写することができる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	建築計画演習のオリエンテーション・現地調査	10
	2	敷地調査及び市場調査	10
	3	平面エスキース	10
	4	各階平面図作図	15
	5	断面図・立面図作図	25
	6	配置図兼屋根伏せ図作図	15
	7	平面図・断面図・展開図及びスケッチパースにてプレゼンテーション	6
	8	模型制作又は3DCG作図	25
	9	プレゼンボード作成	23
	10	プレゼンテーションボード及びパワーポイントにて発表と審査講評	6
	11	※地域を限定し環境を踏まえ提案していく授業展開もあり	
	12	校外実習的な動きも出てくる	
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	合計時間数		145

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善　「建築設計資料」:建築資料研究社】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	建築CAD演習 Ⅲ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	パソコンを利用し、各種基本設計図面のCAD操作を実習指導する。				
到達目標	・RC造に関する平面詳細、立面図など「実施設計」の図面作成技術をCADを利用して描写できる ・インテリア、建築、デザインに適用する操作・表現を身に付けることができる				

授業計画		内　容	授業時間数
	1	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ①	6
	2	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ①	5
	3	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ②	5
	4	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ②	5
	5	専用住宅のRC造平面詳細図作図(1:50) ③	6
	6	専用住宅のRC造立面図作図(1:50) ③	5
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		32

教科書	参考文献【やさしく学ぶJw-cad7(エクスナレッジ)・やさしく学ぶJw-cad☆デラックス(エクスナレッジ)・ 建築CAD検定試験問題集(一般社団法人全国建築CAD連盟)】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:30%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習Ⅳ	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	2年間の学習成果として、自らテーマを設け自然環境、都市的環境、歴史的背景などを読み取り地域社会に見あったより公共性を高めた設計行為を考察する。				
到達目標	・市場調査、敷地調査から分析・推論し仮設を立てることができる ・構造を主に鉄筋コンクリート造で可能な空間を原則として、技術・知識を述べることができる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	建築計画演習のオリエンテーション・現地調査	10
	2	敷地調査及び市場調査	10
	3	平面エスキース	10
	4	各階平面図作図	15
	5	断面図・立面図作図	25
	6	配置図兼屋根伏せ図作図	15
	7	平面図・断面図・展開図及びスケッチパースにてプレゼンテーション	10
	8	模型制作又は3DCG作図	15
	9	プレゼンボード作成	12
	10	プレゼンテーションボード及びパワーポイントにて発表と審査講評	10
	11	※地域を限定し環境を踏まえ提案していく授業展開もあり	
	12	校外実習的な動きも出てくる	
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		132

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 参考文献【「建築計画」:実業出版「建築設計資料作成」:丸善　「建築設計資料」:建築資料研究社】		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:10%、課題・発表評価:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	BIM演習Ⅰ	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	Vetorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。				
到達目標	①建築講義や設計などの表現手法として応用できる。 ②床面積50㎡程度の住宅の図面一式を描けることができる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	BIMについて	3
	2	基本操作	3
	3	A&A講習	3
	4	BIM用語(2級試験内容)	3
	5	応用編(住吉の長屋)作図通り芯入力	3
	6	応用編(住吉の長屋)作図スペース入力する	3
	7	提出(住吉の長屋)作図壁を立ち上げる	3
	8	提出(住吉の長屋)作図床スラブを入力	3
	9	提出(住吉の長屋)作図階段を入力	3
	10	提出(住吉の長屋)作図図面一式を出力	3
	11	提出(住吉の長屋)作図	3
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		33

教科書	Vectorworksパーフェクトバイブル 2018/2017対応A&ABIM演習		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%、		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	インテリアコーディネーター試験対策	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	講義で習得した知識を、実践に即した形でアウトプットする答練講義。講義でインプットした後に行うことで、解答力を養成することができます。習得した知識を定着させ、あらゆる問題に対応できる力を身につけます。				
到達目標	・建築家、インテリアデザイナーの社会における立場を理解できる ・自己の作品を基礎的インテリアの観点からとらえることができる ・インテリアコーディネーター1次合格ができる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	インテリア販売（インテリアコーディネーターの職能・職域／販売実務）	1.5
	2	インテリアの歴史（日本の歴史・西洋の歴史）	1.5
	3	インテリアの計画①（人間工学・寸法計画／住居空間の設計）	1.5
	4	インテリアの計画②（住居空間の設計／健康・安全のための計画／バリアフリーのための計画）	1.5
	5	色彩と造形	1.5
	6	家具①（家具の種類と機能／家具の材料と金物）	1.5
	7	家具②（家具の構造／家具の塗料）	1.5
	8	ウインドウトリートメント	1.5
	9	各種エレメント	1.5
	10	構造・構法①（建築の一般構造）	1.5
	11	構造・構法②（下地と仕上げ）	1.5
	12	構造・構法③（造作／建具）	1.5
	13	材料①（木材／金属材料／コンクリート）	1.5
	14	材料②（陶磁器・煉瓦／ガラス・プラスチック建材／石材・左官材料／塗料／カーペット・畳／壁紙）	1.5
	15	環境工学①（熱と湿気／換気と通風）	1.5
	16	環境工学②（音環境／光環境）	1.5
	17	住宅設備①（冷暖房・空調設備／給排水設備）	1.5
	18	住宅設備②（電気設備／サニタリーの設備機器／キッチンの設備機器）	1.5
	19	照明（照明の基礎／照明器具と照明計画）	1.5
	20	表現技法（設計図書の基本事項／インテリアの図面）	1.5
	21	建築関連法規（建築基準法／その他の建築関連法規）	1.5
	22	消費生活関連法規（消費者関連法規／その他のインテリア製品関連法規）	1.5
	23	確認テスト	5
	24	確認テスト	5
	25	過去問試験	5
	26	模擬試験①	5
	27	模擬試験②	5
	28	模擬試験③	5
	合計時間数		63

教科書	株式会社 建築資料研究所　日建学院　インテリアコーディネーター1次対策講座 上巻・下巻		
時間外学習			
成績評価方法	授業取り組み60％、確認テスト40％		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	実習	講義時期	通年
授業科目	インテリアコーディネート演習	担当者	前海佐季子	科目必修区分	必修
授業概要	・インテリアコーディネーターの役割・仕事の流れを実践を通して学習する。 ・インテリアコーディネートに必要な知識・スキルを実践を通して学習する。				
到達目標	・クライアントの要望に沿ったインテリアコーディネート提案書を作ることができる。 ・プレゼンボード、内装サンプルボードを作ることが出来る。 ・クライアントへわかりやすく提案・説明することが出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	インテリアコーディネーターとは？設計士との違い・役割・必要なスキル・仕事の流れ	2
	2	インテリアスタイルとインテリアコーディネートとの関係	2
	3	カラーコーディネートについて	2
	4	課題1発表　ワンルームのプランニング	2
	5	課題1発表	2
	6	ファブリック・建材について（ショールーム見学）	2
	7	家具の選び方・レイアウトの仕方（ショールーム見学検討）	2
	8	課題2発表　　課題1のインテリアサンプルボードを作る	2
	9	課題2発表	2
	10	明かり、照明器具について（パナソニックショールーム見学）	2
	11	小テスト①　授業で出した内容を出題（カラーコーディネート・カーテン・建材）	2
	12	課題3:リノベーション演習（クライアントへ訪問）	2
	13	コンセプトの考え方・コンセプト作成	2
	14	練習:コンセプト発表	2
	15	練習:コンセプト発表	2
	16	小テスト②　授業で出した内容を出題（明かり、照明器具）	3
	17	本番:クライアントへ中間（コンセプト）発表	3
	18	作業	3
	19	作業	3
	20	作業	3
	21	練習:最終発表	3
	22	練習:最終発表	3
	23	作業	3
	24	本番:クライアントへ最終発表	3
	25	演習振り返り	3
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		60

教科書	「やさしいインテリアコーディネート」学芸出版社		
時間外学習			
成績評価方法	授業態度20%、小テスト20%、レポート・提出物30%、課題発表評価30%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	グラフィックデザイン演習Ⅱ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	illustrator、Photoshopなどのグラフィックアプリケーションを使用して、簡易的なDTPのスキルを磨き、3DCGパースのレタッチのスキルを学ぶ。				
到達目標	①illustratorで簡易的なチラシを作成が出来る。 ②Photoshopで3DCGパースのレタッチ(合成、テクスチャ表現、補正)が出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	illustrator、Photoshop操作方法おさらい	3
	2	Photoshopによるパース着色、レタッチ	3
	3	Photoshopによるパース着色、レタッチ　課題提出(外観パース)	3
	4	Photoshopによるパース着色、レタッチ	3
	5	Photoshopによるパース着色、レタッチ　課題提出(内観パース)	3
	6	illustratorによるペンツール操作	3
	7	illustratorによるペンツール操作	3
	8	illustratorによるペンツール操作　課題提出(イベントチラシ)	3
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		24

教科書	適宜、参考資料を配布		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:70%、授業態度:30%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	リフォーム学	担当者	照屋寛公	科目必修区分	必修
授業概要	リフォーム建築は、その原因を幾通りかに区分できる。その原因を探求することは、実は新築の建築設計にも役にたつ。授業ではリフォーム建築のビフォーアフターの事例をスライドで確認した後、実例で設計演習を経験してもらう。また敷地周辺の身近な地域環境を知ること、そして地域の風土・文化に興味を持つこともコンセプトの組み立てに重要。世界の人々がその地域の文化を生かし どのように建築を創って来たかを探求していきたい。				
到達目標	①沖縄の気候風土を説明できる ②快適に住まう建築を計画・作図ができる ③永く住み続けるリフォーム建築の計画できる ④世界各地の人々がいかに地域建築文化を創ってきたかを理解し説明できる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	授業概要、到達目標説明　　リフォーム・新築・風土文化	2
	2	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	3	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	4	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	5	演習①課題説明　エスキース	2
	6	演習①・発表（11名）	2
	7	演習①・発表（11名）	2
	8	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	9	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	10	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	11	演習②課題説明　エスキース	2
	12	演習②・発表（11名）	2
	13	演習②・発表（11名）	2
	14	リフォーム、新築の事例と風土文化	2
	15	総括講義	2
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	合計時間数		30

教科書	『記憶を刻む家づくり』（照屋寛公著・ボーダーインク刊）		
時間外学習			
成績評価方法	授業態度20％、実習課題（毎授業レポート）30％、期末試験（演習課題2回）50％		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	特別授業	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	専門知識や技術以外の人間性を育み、社会人基礎力の3つの能力を育成する				
到達目標	3つの能力 ①「前に踏み出す力」 ②「考え抜く力」 ③「チームで働く力」				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション	22
	2	新入生球技大会	6
	3	デザコンキックオフ	6
	4	始業日、就業日（大掃除含む）	18
	5	避難訓練、健康診断	5
	6	検定、学期末テスト	12
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		69

教科書			
時間外学習			
成績評価方法	学習態度:100%		
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 2年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	デザイン思考/志学/就職実務	担当者	亀島 英正	科目必修区分	必修
授業概要	デザイン思考を認識する。他分野・同分野の意見を取り入れ物事の考え方や考えるプロセスを考察する。 卒業生講話、就職実務を通して、働くとはどういうことか、業種や職種、仕事と責任、コミュニケーション等、前向きに就職活動が進められるよう働くための基礎を身につける。				
到達目標	①デザイン思考のプロセスを理解し、実践出来る。 ②働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 ③企業リサーチの手段を理解し、実践出来る。 ④面接対策、自己分析、電話応対など3月頃までに就職活動の準備が出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	デザイン思考導入(導入1h／グループワーク分け)	3
	2	デザイン思考導入(コンセンサスワーク)	3
	3	デザイン思考A(導入)	3
	4	デザイン思考A(ワーク)	3
	5	デザイン思考A_発表と共有	3
	6	デザイン思考B(導入)	3
	7	デザイン思考B(ワーク)	3
	8	デザイン思考B(ワーク)	3
	9	デザイン思考B(発表)	3
	10	デザイン思考C(導入)	3
	11	デザイン思考C(ワーク)	3
	12	デザイン思考C(ワーク)	3
	13	デザイン思考C(発表)	3
	14	デザイン思考の振り返り	3
	15	DESIGNCOMPチーム構築／チームでのワーク	9
	16	就職実務	33
	17	センスアップセミナー	9
	18	卒業生講話	12
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		105

教科書	KBC学園就職活動の進め方(オリジナルテキスト)		
時間外学習			
成績評価方法	レポート・課題提出:30%、学習態度:70%		
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	設計演習Ⅴ	担当者	大城美由紀・豊見里和史	科目必修区分	必修
授業概要	3年間の学習成果として、時代の変化を汲み取り、社会の問題発見と解決をデザイン的に提案する。				
到達目標	①市場調査、敷地調査から分析・推論し仮設を立てることができる。 ②解決提案は問わないが、建築空間からインテリア空間まで実現可能を原則として、技術・知識を述べることができる。 ③集大成となる作品のため、これまでの経験を活かしてプレゼン表現ができる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	課題オリエンテーション:課題要項説明、計画地現地調査・敷地調査報告書	10
	2	テーマの調査:市場調査及び敷地調査等を含む	10
	3	各自テーマに沿ったコンセプトの作成	10
	4	各自テーマに沿ったコンセプトの作成	10
	5	各自テーマに沿ったエスキース作成	10
	6	各自テーマに沿ったエスキース作成	10
	7	平面プラン	10
	8	平面プラン	10
	9	インテリアプラン	15
	10	照明プラン等	15
	11	カラースキム	15
	12	展開・断面図作図	15
	13	模型・3DCG制作いずれかを制作	15
	14	模型・3DCG制作いずれかを制作	15
	15	プレゼンテーションボードレイアウト	15
	16	プレゼン資料(パワーポイント等)作成	9
	17	プレゼンテーション	6
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	合計時間数		200

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 「建築設計資料作成」:丸善　「建築設計資料」:建築資料研究社		
時間外学習			
成績評価　方法	課題提出:80%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%		
担当詳細	実務家	備考	
実務経験紹介	建築設計事務所 7年勤務、建築設計事務所 10年勤務		

シラバス

令和 6 年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	建築構造設計	担当者	新川清則	科目必修区分	必修
授業概要	構造設計の進め方、鉄筋コンクリート構造と鉄骨構造設計などの概要について説明する。				
到達目標	・建築一般構造と基礎構造力学の基本的な考え方を理解して、それを他の学生に説明できる。 ・構造設計に関する基本的な知識と技術を習得し、例題の解答例を他の学生に説明できる。 ・構造設計の実務の一部(鉄筋コンクリート造の配筋量算定や鉄骨サイズの決定等)が自分でできる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	構造設計の流れ　構造設計の進め方、構造設計の方針　小テスト・解説	2
	2	各荷重の理解　固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風荷重、地震荷重	2
	3	鉄筋コンクリート構造①　鉄筋コンクリート構造の特徴と材料	2
	4	鉄筋コンクリート構造②　梁に生じる力と鉄筋の役割、主筋量の算定	2
	5	鉄筋コンクリート構造③　柱に生じる力と鉄筋の役割、主筋量の算定	2
	6	鉄筋コンクリート構造④　梁・柱のせん断補強のしくみ、せん断補強筋の規定と重要性	2
	7	鉄筋コンクリート構造⑤　床スラブ厚の算定、鉄筋量の算定　地盤と基礎について	2
	8	**中間テスト**	2
	9	鉄骨構造①　鉄骨構造の特徴と材料、鋼材の性質	2
	10	鉄骨構造②　接合法　高力ボルト接合、溶接接合の有効断面積の算定	2
	11	鉄骨構造③　引張材　引張材の設計式圧縮材　圧縮材の設計式	2
	12	鉄骨構造④　梁　H型鋼の梁、H型鋼梁の横座屈、梁の設計式	2
	13	鉄骨構造⑤　柱　柱に生じる力と柱断面、柱の設計式、柱脚の形式	2
	14	鉄骨構造⑥　接合部分　設計法・名称、接手・仕口の設計式、柱－梁接合部の形式	2
	15	**期末テスト**	2
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		30

教科書	(メイン)「図節やさしい構造設計」学芸出版社　(サブテキスト)「やさしい構造設計　演習問題集」学芸出版社		
時間外学習			
成績評価方法	授業取り組み20％、中間テスト40%、期末テスト40％		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	構造力学Ⅱ	担当者	新川清則	科目必修区分	必修
授業概要	構造力学の基礎、断面の性質、建築構造物を合理的かつ経済的に設計するための基礎となる力学について 全員が正しく理解できる授業内容とする				
到達目標	1)何故建物が自立しているか、力のつりあいと荷重の種類を理解し、建物に作用する応力を説明できる。 2)モーメント、単純梁・単純ラーメンのせん断力図・モーメント図・軸力図を正確に描くことができる。 3)断面の性質を理解し、応力度の概念を説明できる。				

授業計画		内　　容		授業時間数
	1	自己紹介・構造力学I の復習	(Text p. 16～126)	2
	2	断面の性質①　図心と断面1次モーメント	(Text p.128～130)	2
	3	断面の性質②　断面2次モーメント・断面係数	(Text p.131～138)	2
	4	応力度①　軸応力度・曲げ応力度	(Text p.140～143)	2
	5	応力度②　せん断応力度、許容応力度	(Text p.144～156)	2
	6	座屈①	(Text p.158～161)	2
	7	座屈②	(Text p.162～164)	2
	8	**中間テスト**	(Text p.128～164)	2
	9	たわみ・たわみ角	(Text p.166～172)	2
	10	不静定構造①	(Text p.174～176)	2
	11	不静定構造②	(Text p.176～182)	2
	12	塑性解析①	(Text p.184～188)	2
	13	塑性解析②	(Text p.189～195)	2
	14	予備日	(Text p.166～195)	2
	15	**期末テスト**	(Text p.166～195)	2
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
	22			
	23			
	24			
	25			
	26			
	27			
	28			
	29			
	合計時間数			30

教科書	(メイン)「図説やさしい構造力学」学芸出版社　(サブテキスト){やさしい建築構造力学　演習問題集」学芸出		
時間外学習			
成績評価方法	授業取り組み20%、中間テスト40%、期末テスト40%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習、実習	講義時期	前期
授業科目	BIM演習Ⅱ	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	BIM演習Ⅰの復習、Vetorworksソフトを使い2次元から3次元の作図する。BIMの特徴である図面からモデリングの視覚化の表現を身につける。BIMの新時代を見据えた目的とする。				
到達目標	①建築講義や設計などの表現手法として応用できる。 ②50㎡程度平屋住宅図面一式を完成できる。 ③図面一式を完成して出力までできる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	BIMの新時代について	3
	2	BIM1の操作復習①通り芯入力	3
	3	BIM1の操作復習②スペース入力	3
	4	BIM1の操作復習③屋根の作成	3
	5	50㎡の専用住宅エスキース①	3
	6	50㎡の専用住宅エスキース②	3
	7	通り芯入力	3
	8	スペースの入力	3
	9	屋根・窓・床の入力	3
	10	屋根・窓・床の入力	3
	11	各図面シート作成①	3
	12	各図面シート作成②	3
	13	課題提出図面一式（平面・立面・断面をS＝1:100にて出力	3
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		39

教科書	Vectorworksパーフェクトバイブル 2018/2017対応A＆ABIM演習		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　3年次	授業方法	演習、実習	講義時期	後期
授業科目	設計演習Ⅵ	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	3年間の学習成果として、テーマ性がより社会的となったり、完成された形態に芸術性を求めたりという具体的に公共性・総合性を設計行為を考察する。沖縄県設計競技ティーダフラックス概要を参考設計計画実務を学ぶ				
到達目標	①市場調査、敷地調査から分析・推論し仮設を立てる。②建設工事費の概算を算出することができる。 ②構造を主に鉄筋コンクリート造で可能な空間を原則として、技術・知識を述べる				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	課題オリエンテーション・テーマ要項を検討する	10
	2	市場調査・敷地調査を実施。その後分析・推論する。	10
	3	各調査を用いてグループ討議を行いブラッシュアップをする。	5
	4	エスキース1:平面を中心とした概略エスキースを作成する。	10
	5	エスキース2:機能的処理(動線計画)エスキースを作成する。	5
	6	建築物模型作成	10
	7	敷地模型作成	10
	8	完成予想3次元CAD入力①　躯体立ち上げ	10
	9	完成予想3次元CAD入力①　躯体立ち上げ	10
	10	完成予想3次元CAD入力②　プレゼンシート作成	12
	11	完成予想3次元CAD入力③　プレゼンシート出力	10
	12	完成予想3次元CAD入力④　プレゼンシート出力	10
	13	工事費の概算を算出その他提出資料作成	10
	14	プレゼンテーション	10
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	合計時間数		132

教科書	教務作成の課題指示書を学生配布対応し、解説を加える。 「建築設計資料作成」:丸善　「建築設計資料」:建築資料研究社		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:80%、授業態度:10%、課題・発表評価:10%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6　年度　　学校名：　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科　3年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	2級建築士対策	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	2級建築士学科の建築計画・建築法規・構造力学・建築施工の4教科の合格ライン（原則60点）と、各学科の合格ライン（原則13点）の両方を満たすため実施する				
到達目標	①建築法令集的確に使うことができる ③2級建築士試験レベルの問題解答することができる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	学科Ⅰ（建築計画）気候／空気／熱／光／空気調和設備／給水設備／排水設備	3
	2	学科Ⅱ（建築法規）序章／用語の定義／確認申請／面積・高さ等の算定／天井高／階段／建蔽率／容積率／建築士法	3
	3	学科Ⅲ（建築構造）概要／力／力の合成と分解／力のつり合い／構造物に働く力／反力	3
	4	学科Ⅳ（建築施工）概要／施工計画／管理計画／仮設工事／鉄筋工事／型枠工事／コンクリート工事	3
	5	学科Ⅲ（建築構造）①反力／応力／地盤・基礎	3
	6	学科Ⅲ（建築構造）②トラス／荷重・外力／構造計画	3
	7	学科Ⅰ（建築計画）①気候・空気／熱	3
	8	学科Ⅰ（建築計画）②光／音／空気調和設備	3
	9	学科Ⅱ（建築法規）①用語の定義／確認申請・建築手続／面積・高さ等の算定／建築士法	3
	10	学科Ⅱ（建築法規）②用途地域／敷地等と道路／建蔽率／容積率／都市計画法	3
	11	学科Ⅳ（建築施工）①契約／施工計画／管理計画／仮設工事／地盤・土工事・基礎	3
	12	学科Ⅳ（建築施工）②鉄筋工事／型枠工事／コンクリート工事／コンクリートブロック工事／ALCパネル工事	3
	13	学科Ⅲ（建築構造）③断面の性質／座屈／木造	3
	14	学科Ⅲ（建築構造）④応力度／鉄筋コンクリート造	3
	15	学科Ⅱ（建築法規）③高さ制限／日影規制／耐火・防火地域・準防火地域／高齢者・障害者等移動等円滑化促進法／住宅品質確保法／特定住宅瑕疵担保履行法等	3
	16	学科Ⅱ（建築法規）④一般構造／防火区画／避難施設等／その他の関係法令	2
	17	模擬試験①	2
	18	学科Ⅰ（建築計画）③給水設備／排水・衛生設備／色彩／電気・照明設備／消火・防災設備／省エネルギー	2
	19	学科Ⅰ（建築計画）④住宅建築／商業建築／文化施設／教育施設／医療・福祉施設／各部計画／都市計画	2
	20	学科Ⅱ（建築法規）⑤構造計算・構造強度／内装制限／雑則・その他の規定／耐震改修促進法／その他の関係法令	2
	21	模擬試験②	2
	22	学科Ⅲ（建築構造）⑤壁構造／鉄骨造／その他の構造等／断面の性質・掘削／その他の建築材料	2
	23	学科Ⅳ（建築施工）③鉄骨工事／木工事／防水工事／屋根工事／左官工事	2
	24	模擬試験③	2
	25	学科Ⅳ（建築施工）④タイル・石工事／塗装工事／建具・ガラス工事／内装工事／改修工事／設備工事／施工機械・器具／測量／積算・見積	3
	26	模擬試験④	
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		66

教科書	総合資格学院　2級建築士学科講座、日建学院　2級建築士学科講座		
時間外学習			
成績評価方法	授業取り組み:20%、確認テスト:80%		
担当詳細	実務家	備考	
実務経験紹介	建築設計事務所 7年勤務		

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	建築計画Ⅱ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	独立住宅以外の建築物ごとの種類・規模計画・導線計画・平面計画・断面計画・設備計画などその他関連用語を学ぶ。				
到達目標	①各建築物ごとの機能(必要諸室、ゾーニング、機能的つながり等)を大まかに説明が出来る。 ②2級建築士頻出する用語、数値を答えることが出来る。				

授業計画		内　容	授業時間数
	1	建築計画について、単位、寸法のおさらい	2
	2	集合住宅の計画	4
	3	小学校の計画	2
	4	幼稚園・保育所の計画	2
	5	図書館の計画	2
	6	美術館・博物館の計画	2
	7	劇場の計画	2
	8	事務所の計画	2
	9	ホテルの計画	2
	10	商業施設の計画	2
	11	高齢者福祉施設・コミュニティ施設	2
	12	見学予定建築　事前講義	2
	13	建築事例　見学	4
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		30

教科書	図説やさしい建築計画(学芸出版)		
時間外学習			
成績評価方法	期末テスト:50%、授業取り組み:20%、毎回のレポート提出:30%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	ワークアンドスタディ	担当者	大城 美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	インテリア・建築を志す学生が進路の決定する上での助けとなるように、実際の設計事務所、施工現場、家具販売などの制作活動、仕事の進め方に接し実社会において働く心構えを持たせることを目的とします。				
到達目標	①仕事に対する心構えができる ②実務体験を通じて、自分の適性を確認することができる。 ③進路決定へ繋げることができる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	企業から与えられた作業をこなし、企業日誌を書く。	6
	2	〃	6
	3	〃	6
	4	〃	6
	5	〃	6
	6	〃	6
	7	〃	6
	8	〃	6
	9	報告書作成・報告書提出	6
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		54

教科書	参考文献【「KBC学園 就職活動の進め方、IDA手帳（My Life）】		
時間外学習			
成績評価方法	実習レポート:80%、授業取り組み:20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	社会学マーケティング	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	沖縄や国際社会など日常的に起こっている問題やSDGsなどに目を付け、その問題を解決するためにデザインの視点から何ができるのかを検証し、様々な提案・発信する力を身に付ける。また、自分で課題(コンテスト)や研究テーマをつくりチャレンジすることで、社会の問題に向き合う。				
到達目標	①社会の問題を考察し、解決できるアイディアを立案出来る。 ②他者の意見を受け入れ、発展的な発想が出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション・デザイン思考 ワーク①	3
	2	デザイン思考 ワーク②	3
	3	デザイン思考 ワーク③	3
	4	グループワーク① 課題設定	3
	5	グループワーク② アイディア出し	3
	6	グループワーク③ 企画・デザイン検討	3
	7	建築見学	12
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		30

教科書	適宜、参考資料を配布　参考:沖縄から貧困がなくならない本当の理由（光文社新書）		
時間外学習			
成績評価方法	課題提出:40%、授業態度:30%、レポート提出:20%、課題・発表評価:10%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	発想トレーニングⅡ	担当者	比嘉 健矢	科目必修区分	必修
授業概要	自由な発想かつ消費者ニーズを読み取り、インテリア雑貨・家具のデザインをする。それらを企画書としてまとめ、マーケティングの視点で商品企画できるスキルを身につける。				
到達目標	①マーケティングを意識した商品の企画が出来る。 ②商品企画書の制作が出来る。				

授業計画		内　容	授業時間数
	1	オリエンテーション(課題説明および事例紹介)	2
	2	市場リサーチ・分析	2
	3	市場リサーチ・分析	2
	4	市場リサーチ・分析	2
	5	デザイン立案	2
	6	デザイン立案	2
	7	デザイン立案	2
	8	デザイン立案	2
	9	デザイン立案	2
	10	企画書制作	2
	11	企画書制作	2
	12	企画書制作	2
	13	プレゼンテーション	2
	14	プレゼンテーション	2
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
	合計時間数		28

教科書	適宜、参考資料を配布		
時間外学習			
成績評価方法	授業態度:30%、課題・発表評価:70%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	デザインコンプ	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	作品発表の場であるデザインコンプの企画運営(展示、物販、ワークショップ)を行う。 自己プロデュースの場として、作品を発表しつつ業界へアピールを行う。				
到達目標	グループでイベントの企画運営を通して、チームワークを身につくことができる。。 展示や小物雑貨の企画、デザイン力の向上ができる。 自分の名刺とポートフォリオを使用して、来場者へ作品の説明ができる。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	デザインコンプ導入	3
	2	デザインコンプ準備	3
	3	デザインコンプ準備	3
	4	デザインコンプ準備	3
	5	搬入	6
	6	デザインコンプ1日目	6
	7	デザインコンプ2日目	6
	8	デザインコンプ3日目	6
	9	搬出	4
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	合計時間数		40

教科書			
時間外学習			
成績評価方法	授業態度80%、ワークシート提出20%		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	特別授業	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	専門知識や技術以外の人間性を育み、社会人基礎力の3つの能力を育成する				
到達目標	3つの能力 ①「前に踏み出す力」 ②「考え抜く力」 ③「チームで働く力」				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	オリエンテーション	24
	2	新入生球技大会	6
	3	デザコンキックオフ	6
	4	始業日、就業日（大掃除含む）	12
	5	避難訓練、健康診断	6
	6	検定、学期末テスト	6
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		60

教科書			
時間外学習			
成績評価方法	学習態度:100%		
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101
実務経験紹介			

シラバス

令和 6 年度　　学校名:　専修学校 インターナショナルデザインアカデミー

学科・学年	インテリア・建築デザイン科 3年次	授業方法	講義、演習、実習	講義時期	通年
授業科目	デザイン思考/志学/就職実務	担当者	大城美由紀	科目必修区分	必修
授業概要	デザイン思考を認識する。他分野・同分野の意見を取り入れ物事の考え方や考えるプロセスを考察する。 卒業生講話、就職実務を通して、働くとはどういうことか、業種や職種、仕事と責任、コミュニケーション等、前向きに就職活動が進められるよう働くための基礎を身につける。				
到達目標	①デザイン思考のプロセスを理解し、実践出来る。 ②働くことの意味や業界の職種と内容について考え、将来像をイメージ出来る。 ③上半期までに就職内定、進路決定が出来る。				

授業計画		内　　容	授業時間数
	1	デザイン思考導入(導入1h／グループワーク分け)	3
	2	デザイン思考導入(コンセンサスワーク)	3
	3	デザイン思考A(導入)	3
	4	デザイン思考A(ワーク)	3
	5	デザイン思考A_発表と共有	3
	6	デザイン思考B(導入)	3
	7	デザイン思考B(ワーク)	3
	8	デザイン思考B(ワーク)	3
	9	デザイン思考B(発表)	3
	10	デザイン思考C(導入)	3
	11	デザイン思考C(ワーク)	3
	12	デザイン思考C(ワーク)	3
	13	デザイン思考C(発表)	3
	14	デザイン思考の振り返り	3
	15	DESIGNCOMPチーム構築／チームでのワーク	9
	16	就職実務	21
	17	卒業生講話	15
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	合計時間数		87

教科書	KBC学園就職活動の進め方(オリジナルテキスト)		
時間外学習			
成績評価方法	レポート・課題提出:30%、学習態度:70%		
担当詳細	教員	備考	https://www.steam-library.go.jp/content/101
実務経験紹介			